

# 日 米 交 流 かかし 作り

交流  
プロジェクト  
2023



東北防衛局では、日米の相互理解を深める取組みとして、在日米軍関係者と地域の住民の方々がスポーツ、文化などを通じて交流を行う「日米交流事業」を開催しています。

令和5年7月14日（金）、つがる市立車力小学校の児童及び米陸軍車力通信所の軍人等による日米交流「かかし作り交流プロジェクト2023 in つがる」を開催しました。

日米の参加者35名（小学生26名、軍人等9名）は、混合6チームに分かれ、児童が事前に準備した「かかし」のイラストを用いて、日本語と英語を交えながら、イメージに近づけるべく協力して骨組みに縄や藁を巻き付け、創意工夫しながら、かかし本体を制作しました。

その後、浴衣や帽子など、様々な飾り付けを施し、2時間ほどで思い思いの個性豊かな「かかし」を完成させました。

参加した児童からは「みんなとアイデアを出し合いながらできた。外国の人がフレンドリーだったから、楽しくお話できた。」、また、米軍人からは「今日のかかし作りを通して、子どもたち自身や彼らの文化を知ることができた。日本語も教えてもらい、互いの理解が深まった。本当に感謝している。」と話していました。

今回制作した「かかし」は、7月18日（火）～30日（日）までの間、つがる市北消防署、7月31日（月）～8月22日（火）までの間、つがる市役所に展示し、来場者に人気投票していただき、9月下旬に優秀作品を表彰する予定です。

東北防衛局は、在日米軍と地域住民の方々の相互理解の一助となるよう、今後も様々な形で活動してまいります。



かかし本体を協力して制作



かかし本体に飾り付け



感想を述べ合う日米の参加者